

作成日 2022年12月1日

改定日

山本窯業化工株式会社

施工仕様書 「ネオフレッシュティアラローラーVS」

用途 住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他の建築物（新築・改修）の内外壁面。

適用下地 旧塗膜面、磁器タイル等の改修下地。コンクリート面、セメントモルタル面、プレキャストコンクリート部材、ALCパネル、その他各種板・ボード類等。

施工不可部位 天端（笠木・手すり・セットバック等）や幅木、パラペットの施工は避けてください。

※ 本施工の前に必ず試験塗装を行い、希釈量（粘度）・塗付量（厚み）・色調等を確認し、標準見本が再現できるよう確認してください。

※ 表中の数値は標準状態および塗装面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる事があります。間隔時間は気温23℃（湿度50%）の場合ですが、低温・高湿等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。

【標準施工仕様】

工程	使用材料名と割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
1	下地調整				
	・新設下地の場合、補修・清掃を実施した上、必ず下地の種類に応じたシーラー処理をしてください。 ・改修の場合、旧塗膜の状況や素地の状態に応じ、必要な処理および下地調整をしてください。 (脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)、補修、シーラーや下地調整塗材塗布など)				
2	下塗材				
	セラファンテ 弾性カラー-Si	15kg	ウールローラー	1	4時間以上
	清水	0～0.5kg			
3	主材塗り (下塗り)				
	ネオフレッシュティアラローラーVS	16kg	中長毛ローラー (Micro Eight 18mm)	1	4時間以上
	清水	0～0.2kg			
4	主材塗り (上塗り)				
	ネオフレッシュティアラローラーVS	16kg	中長毛ローラー (Micro Eight 18mm)	1	24時間以上
	清水	0～0.2kg			

ローラー器具

大塚刷毛製造(株)：中長毛ローラー (Micro Eight 18mm)を使用します。



仕上がり

吹付仕上げとローラー仕上げではカラーマイカの重なりに差異があるため、仕上がり感が変わります。

塗装上の注意事項

- 1 塗装下地の目地深さが5mm以上ある場合は、ローラー塗装は推奨できません。
- 2 下塗りは適正粘度に調整して、均一に塗布します。
- 3 下塗りは15kg/缶に清水0～0.5kgを加え、均質になるまで十分に攪拌します。
- 4 下地が均一に隠蔽するように斑なく塗布して下さい。
- 5 下塗りの所要量は0.3～0.4kg/m²(1回)を標準とし、材料を塗布しすぎて流れないようにすることがポイントです。
- 6 下塗は均一に塗布します。
- 7 ネオフレッシュティアラローラーVS 16kg/缶に清水0～0.2kgを加え、斑なくそろえるようにローラー塗装します。
- 8 塗布量が多すぎるとダレの原因となります。
- 9 中長毛ローラー (Micro Eight 18mm)に材料を全体的的にせて被塗装面に対し材料を均一に配り縦・横にならし最後に一定方向で仕上げて下さい。塗材の片寄り塗ム原因となります。
- 10 サンプルを確認し、色相、パターンを合わせるよう微調整して下さい。
- 11 部分的に塗布量が多すぎたり、少なすぎたりすると色ムラになる場合がありますのでご注意下さい。
- 12 複数の塗り手で仕上げる場合、必ず相互の仕上がり揃うように事前に打ち合わせを行ってください。
- 13 最終養生時間は24時間以上として下さい。

- 本製品は水性樹脂の中にカラーマイカが混合されている材料を2回塗りで仕上げ、下塗材の色調とカラーマイカの色調が複合した仕上がりになる製品です。この為、下地の種類によってはカラーマイカの偏りや塗布ムラが目立ってしまう可能性があります。適応下地としては、形状のあるサイディングや化粧目地入りの石材調改修・塗り仕上げ用とし、平滑な下地（新設下地・改修）や目地のない下地への施工は避けてください。また、形状のあるサイディングにおいても、形状により多少カラーマイカの偏りが目立つ事がありますので事前に試験塗装により仕上がり確認の上で施工してください。